科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
母性看護学方法論Ⅱ	２年次　前期	必修	講義	１単位（３０時間）	明地　由紀子　※

授　業　概　要

母性機能が発揮される周産期、特に受精から始まり妊娠期・分娩期を中心に母と胎児の健康の維持促進、逸脱への予防の必要性を理解し、その基本的看護を学ぶ。さらに母子を中心とした継続看護について理解する。

到　達　目　標

１．妊娠成立の条件、ホルモン変化について説明する。
２．妊娠経過における身体的・心理社会的変化及び適応への援助について説明する。
３．妊娠中の日常生活が正常に経過するための看護を説明する。
４．妊娠中に起りやすい不快症状や妊婦のリスクを理解し、看護について説明する。
５．分娩開始、経過を説明でき、分娩進行に伴う産婦と胎児の変化に必要な看護について説明する。

実務経験のある教員

明地　由紀子:
　助産師として病院での臨床経験を踏まえ、妊娠期から分娩期の経過と正常に経過するための支援について講義する。

回	学　習　内　容	担当教員
1-3	１．妊娠成立の条件、ホルモン変化 ２．における援助 　１）妊娠の生理 　２）胎児の発育と生理 　３）妊婦の健康診査	明地　由紀子　※
4-5	３．妊娠の異常と看護 　１）ハイリ妊婦期スク妊娠・特定妊婦とは 　２）妊娠期の感染症）風疹・Ｂ型肝炎等） 　３）妊娠合併症及び看護 　４）ハイリスク妊婦の看護	
6-7	４．分娩期における看護 　１）分娩の要素と経過について 　２）分娩進行に伴う産婦・胎児の変化と看護 　３）異常のある産婦の看護 　　・破水　・GBS 感染　・分娩遷延 　４）産科処置及び産科手術（帝王切開）	
8-15	５．妊娠期から分娩期を中心に母と胎児の健康維持促進について 　１）ポートフォリオ作成 　２）プレゼンテーション	

学　習　方　法

講義・プロジェクト学習で進める。周産期（妊娠・分娩）の知識と技術を習得し、臨地実習へと応用するために、継続的な自己学習が必要である。また、限られた時間で専門性を深める学習を行うため、日常から周産期の人々への関心を高める必要がある。

評　価　方　法

〔評価方法〕
科目修了試験(60%)　ポートフォリオ(30%)　プレゼンテーション(10%)

先　修　科　目

なし

教科書、参考書

〔教科書〕
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　母性看護学〔２〕　母性看護学各論　　森　恵美　他　　医学書院
病気が見える　vol.10　産科　　岡庭　豊　メディックメディア